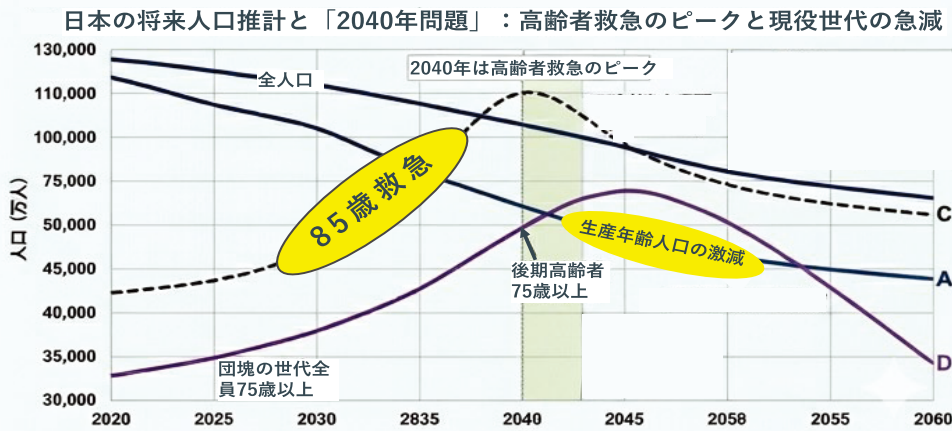


コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



【図1】会場風景（於 倉敷アイビースクエア）



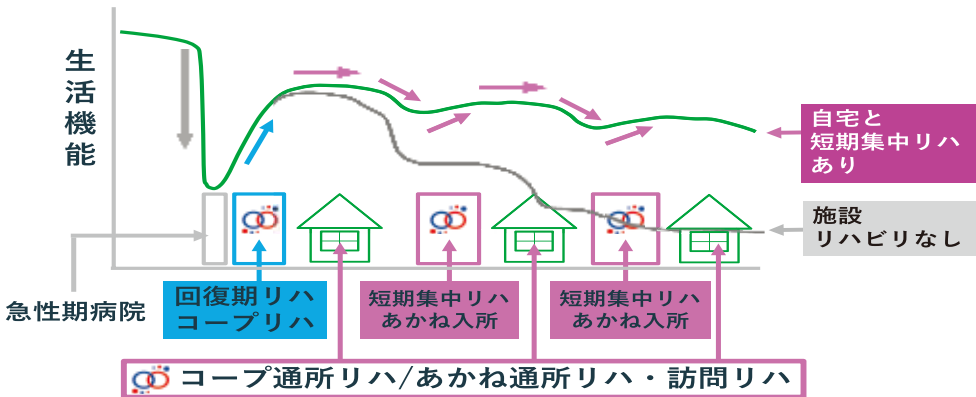
【図2】2040年問題の意味。団塊の世代が全員75歳以上になる「2025年問題」が過ぎたら今度は85歳を中心とする超高齢者の医療要請が増えてピークに達する2040年問題が待っています。その後しばらく減少しかないので国は病院、診療所を地域の需要に合わせて整理統合する考えです。

医療機関機能の体系（新たな機能区分）

急性期拠点機能	高齢者救急・地域急性期機能	在宅医療等連携機能	専門等機能
<ul style="list-style-type: none"> 手術・救急医療を幅広く集約 人口20~30万人に1か所確保が目安 災害医療・新興感染症対応 医育（臨床研修・専門研修） 地域への人的協力 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の二次救急受入 入院早期からリハビリ・退院調整 介護施設との連携 手術等は急性期拠点と役割分担 <p>※地域ニーズに応じて配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・訪問看護を提供 24時間対応・入院後方支援 介護施設の協力医療機関 オンライン診療の積極活用 <p>※明確な「病院数」の全国一律目安はなし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中リハビリテーション 中長期入院（多疾病併存） 有床診療所の地域診療 特定診療科に特化した診療 <p>※地域シェアや役割に基づき、地域ごとに必要な数を設定</p>

【図3】枠内がコープリハビリテーション病院、老健あかねの機能です。集中リハビリテーションには回復期リハビリテーション病棟の他に老健あかねの短期集中リハビリテーションを含みます。

コープリハ・老健あかねの経営モデル



【図4】高齢者はリハビリで望む暮らしに戻れても、そのままでは再び生活機能は悪化します。生活機能とは、平行棒何メートルとかではなく、食事、トイレ動作がどれだけできるかです。それを維持・向上するのが生活期リハビリです。

組合医師・幹部会議報告

「コープリハ・あかねの使命は生活機能低下の回復と予防」

【はじめに】

倉敷医療生活協同組合の医師と幹部・理事の総会が4月25日に倉敷アイビースクエアで開催されました（図1）。今年度は2年に1度の診療報酬改定とも重なり、3病院（水島協同病院、玉島協同病院、コープリハビリテーション病院）と歯科部門の対応も発表

されました。

【2040年までの準備】

今回の診療報酬改定は猛烈な勢いで医療機関を整理する政策意図を感じます。理由は2040年に85歳以上人口（医療需要が大）がピークを迎えたあと減少、若者（医療費の支え手）は既に減

【すべての医療機関に共通する課題】

この2040年という歴史的転換点に向けた方針は「治す医療」から「治し支える医

り続け日本の全人口も減少するからです（図2）。だから今のうちに医療機関を整理しようという狙いです。

療」です。これはその通りですが、「支える」と聞くと「医療じゃなく寄り添うケアですね？」と距離を置く医療者もいるでしょう。

しかし超高齢者は複数の慢性疾患や過去の脳卒中などで障がいを持った人たちです。それに対し病气ごとの検査や処方ばかり関心を向けている（英語で concern）と、目の前の超高齢者の生活機能はみるみる低下します。「支える」とは障がいの克服にまで医療者が関心を持つて欲しいというメッセージに聞こえます。

【私たちがやりたいこと】

このメッセージに当院が応えられるのは病院完結の「建物丸ごとリハビリ」から「地域丸ごとリハビリ」への展開と考えています（図3）。

その骨格は10年以上前から実践中です（図4）。高齢者が抱える病气や障がいを消すことは出来ませんが、「生きてよかつた」（QOL）と思って貰える手助けはしたい、それが私たちのゴールです。

（コープリハビリテーション病院 管理者 鍛本真一郎）

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

高校生1日医療体験に 来られました。



高校生1日医療体験に参加された生徒の皆さんと筆者（右）

3月25日に高校生の方6名が1日医療体験に来られました。当院の説明や、回復期リハビリテーション病棟での看護師の役割を知っていただき、リハビリや看護師体験を實際にしてみました。

用するのは初めてで、難しいところもあったが参考になった。「進路の幅を広げ考える良い機会になった」などの感想をもらいました。

看護師志望の方や、まだ進路が決まっていなという方もおられました。ぜひ看護師を目指していただき、将来一緒に働くことができ嬉しく思います。

4月よりリハビリテーション科長に加えて事務次長の兼務を任命されました。事務課の業務はこれまでとは大きく異なり、まだ十分に理解できていない部分もありますが、受付・医事・総務・庶務など多岐にわたる業務に、



事務次長就任の挨拶

職員の方々に支えていただきながら取り組んでいます。受付1階で過ごす中で、患者さんやご家族、他施設や業者の方など、多くの方々が当事業所と関わっていることを実感し、その窓口となる事務課の重要性を改めて感じました。

まだ不慣れな点もありますが、日々学びながら職務に励んでまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

（コープリハビリテーション病院 事務次長 佐藤雅昭）

新入職員紹介



通所リハビリテーション 介護士 石田 喜久子



通所リハビリテーション 介護士 山本 絢子



コープリハビリテーション病院 3階病棟 介護士 白井 能乃香



コープリハビリテーション病院 調理員 金田 しのぶ



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 池崎 玲加



通所リハビリテーション 看護師 赤澤 玲子



〇お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診療表							
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]				老健あかね [086-446-6541]			
診療時間	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビ	短期集中 健康アップ 教室	訪問 リハビ	通所 リハビ
午前 9:00～ 12:30	14:30 ～ 15:00		午後	9:00 ～ 16:50	9:30 ～ 11:00		9:00 ～ 16:00
月	6/1・29 中角 (整形外科) 本田			○		○	○
火	渡辺 本田	○ (予約制)	滝本 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○	○
金	香口 本田			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00
	日・祝日	休み

入院セット・おむつセットご利用者様限定 病棟でWiFiご利用いただけます

スマートフォンやタブレット、パソコンでインターネット閲覧や連絡が可能です。

SSID・パスワードで接続してください。

※利用開始時に簡単な操作が必要です。

※WiFiは入院セット・おむつセットご利用者様限定です。

※接続でお困りの際は、病棟スタッフまでお声かけください。

(ワタキューセイモア株式会社 細田航世)

ご利用方法

- 入院セットをお申し込み頂くと、WiFi利用が可能となります。
- 病棟より「WiFiご案内用紙(パウチャール)」をお渡しします。
- 記載のQRコードまたは

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。